

withコロナ、postコロナにおける
地理教育のあり方オンライン交流会

日本地理教育学会
公益社団法人日本地理学会 地理教育専門委員会

2020年5月16日（土）14時～17時10分

（Zoomネットワークにて）

次 第

(1) 趣旨説明、機能説明 (14時～14時20分)

(2) 情報提供 (14時20分～14時50分)

三橋浩志氏 (文部科学省 教科書調査官)

「文部科学省による各種通知と地理教育の関係について」

(3) 取組紹介 (各先生15分程度：14時50分～15時50分)

(4) ブレイクアウトルーム (4～5人のグループ) (15時50分～16時30分)

(5) ブレイクアウトルーム後の全体での情報共有 (16時30分～16時40分)

各班1分ほどで、意見交換の状況を報告

(6) 「withコロナ、postコロナ」の地理教育のあり方 (16時40分～17時10分)

事例報告の4先生と井田先生による対談

(1) 開会挨拶・趣旨説明

日本地理教育学会会長

公益社団法人日本地理学会 地理教育専門委員会委員長

井田仁康（筑波大学）

(2) 情報提供

文部科学省による各種通知と 地理教育の関係について

三橋浩志（教科書調査官）
＜文部科学省 初等中等教育局＞

(3) 取組紹介（各先生15分程度：14時50分～15時50分）

1. 中谷佳子先生（千葉大学附属小）：オンラインホームルームの取組
2. 今野良祐先生（筑波大学附属坂戸高）：Zoomを使った授業の取組
3. 柴田祥彦先生（東京都立国分寺高）：ICTによる教材共有化の取組
4. 河合豊明先生（品川女子）：オンライン授業の取組

(4) ブレイクアウトルーム (16時10分~17時)

①全体説明と休憩(16時10分~16時20分)

- ブレイクアウトルームの進め方の説明
- 休憩

②グループに分かれたブレイクアウトルームでの意見交換

※今日は2回のルーム設定を行って頂きます

ブレイクアウトルームとは？

- 参加者全員を4人から5人のグループ（ブレイクアウトルーム）に分かれます。グループ限定で、オンラインによる意見交換を行います。
- ブレイクアウトルームの参加者は4人から5人です。マイクは全員がオン（ミュートを外す）でも聞き取れますが、気持ちよい意見交換にするためには、発言者だけがマイクをオンにし、その他の人はマイクをオフにすることを推奨します。ルールを守って、意義ある意見交換にしましょう。
- ブレイクアウトルームの終了1分前に、ホスト役から全員の画面に「あと59秒で終了します」を通知します。適宜、終了して全体会場に復帰してください。

ブレイクアウトルームとは？

- 今日の参加者はほぼ全員が地理教育関係者です。地理教育について自由に意見交換してください。ただし、各地域、各学校のよって条件や環境は大きく異なりますので、各メンバーの立場や意見の否定をしないことにご留意ください。
- 取組紹介の4先生、文科省の三橋調査官、会長・委員長の井田先生の6名は、各グループを回って議論を参観、議論に参加させていただきます。ご理解ください。【今野先生は参加者の割振り作業があるため、意見交換は遠慮します】
- 上記6名をルームに呼びたい場合は、ホスト役の今野先生宛てにチャットするか、今野先生をヘルプで呼んでください。[右下の「ヘルプを求める」](#)ボタンを押すと今野先生がルームに参加できます。その後、今野先生が6名の各ルームへの割り振りを指定できますので、ご相談ください。

16時20分まで休憩とします。

16時20分に、4人から5人のブレイクアウトルームに自動で移動します。

必ず端末の前に戻ってください。

②ブレイクアウトルームでの意見交換

その1：16時20分～16時45分

その2：16時50分～17時5分

(1)自己紹介

※各学校の休校期間中、休校明けの取組状況

相互の質問タイム

(2)家庭学習やオンライン授業の課題

(3)コロナ禍に対する地理教育の視点

(5) ブレイクアウトルーム後の全体での情報共有

申し訳ありませんが、今日は時間の関係で全体での情報共有は省略させていただきます。

本来であれば、各グループの成果を全体で共有することが可能です。

(6) 「withコロナ、postコロナ」の地理教育のあり方

(17時5分～17時30分)

司会進行は井田会長・委員長

情報提供者、取組紹介者の合計5名との意見交換

※参加者からのご発言は時間の関係で難しいため、ご質問などはチャットをご利用ください。

本日は長時間にわたりオンライン交流会にご参加ありがとうございました。

- 後ほど、参加者アンケートのお願いをメールでご案内させていただきます。アンケートにご協力をよろしくお願ひします。
- また、本日の発表資料は、日本地理教育学会または日本地理学会地理教育専門委員会などのHPで公開を予定しています。調整が済みましたら、URL等をご案内させていただきます。よろしくお願ひします。